

一般社団法人

大学女性協会
東京支部会報

- TOMOSHIBI -

Journal of Tokyo Chapter

Japanese Association of
University Women

<https://www.jauw.org>



2023.3
第73号



コロナ禍を経てできたこと

支部長 鷺崎 千春

東京支部委員会の活動も、委員の協力のもと、また会員の皆さまの温かいご支援をいただいて何とか無事に一年が終わろうとしています。コロナウイルス感染の収束が目処の立たないまま、2023年を迎えましたが、コロナ禍だったからできたこともあり、ZOOMによる会議や講演会が当たり前に行えるようになりました。昨年6月に行われたホームズ奨学生の陳兆昱さんの講演会「女性の政治参加と国家間紛争」では、会員外からのゲストも迎えて、活発な質疑応答や議論がなされました（「としび」72号に掲載）。

73号では11月20日に行われた前支部長 長谷川瑞穂さんのオンライン講演会の報告をしています（P3参照）。70歳から博士号へ挑戦された探求心と行動力が、「幾つになっても学ぶことができる」と参加者の大きな感動を呼びました。若い委員の手慣れたIT技術を頼りに、53名の参加者を得てグループ・ディスカッションを試みることができました。また、委員会もハイブリットで自宅からでも参加でき、委員間の連絡を密にとれるようになりました。

しかし、対面で実現したい企画は受け入れ態勢もコロナ禍で回復せず、企画を断念せざるをえませんでした。

東京支部国際奨学金、東京支部国内奨学金（通称チャレンジ奨学金）は、今年度で終了となります。支部国際奨学金は2009年度から、支部国内奨学金は2012年度から継続して、多くの奨学生を支援してきました（P2参照）。この二つの奨学事業が終了になります。詳しい経緯は次号に掲載いたします。



望月麻紀さんにチャレンジ奨学金を授与（2023.1.28）

折しも、ありがたいことに支部会員（匿名）から多額の奨学金指定のご寄付があり、2023年度には新しい奨学事業を始める計画をしています。こちらは国内の大学生・大学院生を対象としますので、東京支部奨学金（通称チャレンジ奨学金）と命名することになると思います。

年明けから、東京支部のホームページに「としび」創刊号から55号までのPDF版が掲載され、先輩方の熱意溢れる活躍を、じかに知ることができるようになりました。これも支部会員のご協力により実現できましたことと、心から感謝申し上げます。

4月16日に明治記念館で支部総会を開催します。4年ぶりの対面での総会となります。総会の後は久しぶりに会う会員と親睦を深めて、和やかなひと時をお過ごしください。

6月24日には林望氏に「能の中の女性たち」と題する講演をお願いしています（P10参照）。これからも皆さまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

2023年 東京支部総会のご案内

4年ぶりの対面支部総会です。
是非ご出席ください。



明治記念館庭園（明治記念館 HP より転載）

明治14年 赤坂仮皇居御会食所（現 明治記念館本館）として竣工

日時：2023年 4月16日（日） 11:00～14:00

会場：明治記念館 2階「丹頂の間」 懇親会費：4,500円

- 第1部 東京支部総会議事（11:00～）
- 第2部 会食（和食弁当、ワンドリンク付）・懇親会（12:30～）

お仲間とゆっくりご歓談ください。

収益事業委員会のバザーでお買いものもお楽しみいただけます。

2022年度

東京支部奨学事業報告

東京支部国内奨学生

東京支部国内奨学金(通称チャレンジ奨学金)は、2年以上の就労経験の後、大学に学ぶ女性3年生1名を支援する奨学事業です。原資は事業2で奨学金は20万円です。

なお、本奨学事業は、2012年度より、事業2として11年間に11名の優秀な奨学生を支援してきました。2023年度より原資を事業6に移し、実施の方向で検討中です。

今年度の応募者は3名でした。応募書類を評価し、望月麻紀さん(慶應義塾大学看護医療学部3年)が奨学生にふさわしいと、11月支部委員会で決定しました。1月委員会にて奨学金授与式を行いました。4月支部総会においてスピーチを聞くことになっております。

奨学生紹介

- 望月麻紀さん
(慶應義塾大学看護医療学部3年)



望月麻紀さんは、国際基督教大学修士課程を修了後、26年間毎日新聞の記者として活躍の後、退職し慶應義塾大学看護医療学部2年に学士入学されました。新聞記者として在宅医療の現場取材の中で、在宅医療における看護師の役割の重要性を認識し、訪問看護師を目指して勉学中です。

東京支部国際奨学生

東京支部国際奨学金は、日本以外の国籍を持ち、その国の高等教育機関に学ぶ女性2名を支援する奨学事業です。原資は事業3で、奨学金は年額4万円を正規の卒業まで支給します。日本側の推薦者と奨学生が連絡できることを条件として、奨学生との交流も心掛けています。

なお、本奨学事業は、2009年度より事業3として、3ヶ国7名の奨学生を支援してきましたが、今年度もって終了します。

奨学生紹介

- バネッサ・ユバネス・マサムロックさん
(フィリピン)

バネッサ・ユバネス・マサムロックさんは引き続き支援しています。彼女は、優秀な成績で大学3年を修了し、4年に進級されました。2022年度の支給をもって満期終了します。

- ピュ・プイン・マイさん(ミャンマー)
- ピュ・プイン・マイさんは、2020年にミャンマーのマウビン大学へ入学しましたが、政情不安定のため、大学の授業が順調に進んでいません。その中で、2022年12月に2年への進級試験を受け、パスされました。2021年度は支給を保留にしていたましたが、1年遅れで奨学金を支給しました。2022年度をもって終了します。

東京支部国内・国際奨学事業終了について

2012年度の一般社団法人への移行に伴い、当時の東京支部の全資産を、公益事業として東京支部国内・国際奨学金に充当することとしました。予定通り今年度をもって当時の資産は0となり、二つの奨学事業は終了します。詳しくは次号でご報告します。

JAUW国内奨学生支部関係

本部の国内奨学生の募集と一次選考は、各支部に一任されています。

東京支部では、6月に募集書類を41大学へ送付しました。8月末の締め切りには27大学から31名(一般奨学生22名・社会福祉奨学生4名・安井医学奨学生5名)の応募がありました。一般は支部選考委員6名による選考を経て11名を、社会福祉と安井医学は全員を、支部推薦応募者として本部へ提出しました。本部選考と理事会承認を経て、東京支部からは、次の5名が奨学生と決定しました。

奨学生紹介

《一般奨学生》

- 藤田葵

政策研究大学院大学博士前期課程2年「日本における会社型農業経営の起こり」榎本武揚・北辰社の活動をケースとして

- 濱松若葉

津田塾大学大学院博士後期課程2年「障害者の「本質的就労」のための「能力」観の転換」

《社会福祉奨学生》

- 安田知夏

東京大学大学院博士後期課程2年「EU(欧州連合)の文化政策における政策過程——1992〜2019年の分析から」

- 片山祈実香

琉球大学学部2年「電子情報通信技術の医療分野への活用」

《安井医学奨学生》

- 伊津野舞佳

慶應義塾大学大学院博士課程2年「老化ヒト細胞を用いた神経変性疾患モデル細胞の構築と薬剤探索」

(報告 支部委員 坂上栄美子)

東京支部オンライン講演会

「言語保持と社会変化に対応するイヌイトの女性たち」に参加して

鈴木 千鶴子（長崎支部）

東京支部の催しには、ビフォア・コロナで対面の時代から参加させていただいたことがありましたが、今回のオンライン講演会は殊のほか興味があり一番乗りで申込みさせていただきました。と言うのも、講師の長谷川瑞穂さんは、私が40年以上短大・大学で英語学を講じた中で、2006年の発売直後に一目ぼれし15年間近く使わせていただいたテキスト『はじめての英語学』（研究社）の編著者でもあったからです。このテキストの魅力は、英語の音声や語彙、構文、意味などについて分析的・理論的に明らかになっていることを解説するに止まらず、英語を人間言語の一つとして捉えることから始まり、構造的特徴についても身近なところから分かり易く説き、学ぶことの楽しさを伝えるものとなっていることです。さらに、人が“ことば”を使う時に関わる社会とその背景としての文化や歴史について洞察する方向へ導いているのです。今回のご講演は、そのテキストの特徴を発展的・応用的、そして実践的に開花させたご研究の賜物として伺うことができ、テキストloverとして堪能させていただきました。

テーマは、講師が70歳から東京外国語大学大学院博士後期課程に入学し3年間取り組まれた博士論文の研究結果（単著『先住・少数民族の言語保持と教育』明石書店；2019）に

基づくものでしたが、焦点を女性に当てたことと、講師自身が所謂北極圏の中心地ヌナブト準州のイカルイトへ出向いて、アンケート調査、インタビュー、参与観察などで調査研究された様子をスライドで紹介されたことで、お話しは身近なものとなり自分事として理解を深めることが出来ました。

講師は、言語はそれを使う人の“権利”と“主張”つまり価値観・正義と不可分と捉え、世界中で否が応でも進行するグローバル化による多文化共生社会を、民族や国家間の侵略や征服ではなく、融合と調和によって形成するためには、それぞれの言語保持が重要な課題であると仮定し、その実現に女性たちが貢献していることを、イヌイト族の場合を例に実証的に示されました。イヌイトの女性たちが英語を修得し高等教育や資格取得に成果を上げる一方で、家庭で母語保持に努める状況を知るとは、講師自身のチャレンジ精神とともに、私たちに勇気とやる気を湧き起こさせるに十分でした。そしてそのことは、参加者によるグループディスカッションで、女性の柔軟性との関係および真に持続可能な共生社会の構築の要件であるとの結論とともに広く共有されました。



カナダ地図



講師 長谷川瑞穂氏



イカルイトの海



イヌイト協会の建物

新春のつどい

奨学生の輪が広がって



新しい年が明け、1月14日に恒例の「新春のつどい」が、学士会館で開催されました。東京支部から38名、その他支部から16名の会員、8名の奨学生と事務職員が参加しました。第1部では国内奨学金授与式が行われ、やや緊張気味ながら、奨学生からご自分の研究内容、将来の希望、そしてこの奨学金を受けられたことへの感謝が述べられました（詳細はJAUW会報278号に掲載）。欠席された2名の奨学生からのスピーチも代読され、10名それぞれに興味深い内容で、社会の役に立ちたいとの思いが強く、この協会の活動の柱でもある奨学事業を長く継続してきた意義を感じました。第2部の懇親会では、各テーブル毎に分かれた奨学生と共に、美味しいお料理を味わいながら、こちらの質問にも素直に答えていただき、会話が弾みました。今回は特別のプログラムはありませんでしたが、時間的に余裕があり、最初に感想を求められた奨学生の話の皮切りに、次々に奨学生全員が打ち解けた様子で、感想や実践されているボランティア活動などについても話してくださり、大変心温まる集いだったと思います。沢山の品物、寄贈品であふれるバザーも盛況で、関係者の皆様に感謝しております。（鷲崎）

写真

岩村道子会長よりJAUW
国内奨学金を授与

次号(74号)掲載開始。
皆さまの投稿を
お待ちしております！

点描画

tenbyouga

《ともしび》に
チャットルーム誕生

会員の皆さまから、フリーに投稿していただく新企画です。
日々の暮らしの中で出逢った楽しいこと、悲しいこと、悔しいこと、ふと考えたこと、何でも結構です。どうぞ、気ままにお寄せください。
「点描画」というタイトルには、「皆さま一人一人の想いが集まって
きっと、素敵な絵ができることでしょう！」という願いが込められています。
初回は多少戸惑いをお感じかも…と、編集部で参考原稿をご用意しました。
もちろん、このサンプルにこだわる必要は全くありません。
お友達と電話でおしゃべりするように、ごく気軽にアクセスしてください。

冬の幸せ

子どもの頃の冬の思い出といえば、風呂場に入った瞬間に、柚の香りに包まれたときの幸福感。我が子にもそれを体験させたいと、スーパードで柚を見かけると柚湯にしてみるが、どうも香りが出ない。鼻を擦り付けるようにして、やっと柚ではあることを確認するのが年中行事となっている。

先般、この話を友人にしたら「えっ、庭に柚の木がないの？」と、言われてしまった。今の東京では、庭に柚がある方がめずらしいと思うのだが、ともかくウラヤマシイ限り。まさしく猫の額の我が庭では、望むべくもないコトだ。十余年ほど前、香りが好きだからと、娘に懇願されてキンモクセイを植えた。すくすくと育ち花もつけるようになったが、今では毎年、伸びた分だけ切られてしまう可哀想な存在。それでも季節がくれば健気に咲くのだが、あの馥郁たる香りを放つ力は無いようだ。

生まれながらの芳香で、周囲の女性を虜にした貴公子『薫』に象徴されるように、古来から香りを貴んできた日本人だが、現代では、茶道、華道に比べて、香道を嗜んでいる人は少ないように思う。

フローラル系だの柑橘系だの、洗剤やトイレットペーパーにまで香料を染みこませるアロマ市場は活況だが、静かに香りを慈しむ日本独自の感性は、時代の喧噪の中で、次第に薄れてしまうのだろうか？

(編集部サンプル)

- 応募期間：特に規定はありません。自由にお寄せいただいたものを、随時、掲載します。
- 記名/題名：会員相互の理解と絆を深めるために、ぜひ、記名をお願いします。
できれば題名も添えてください。無題の場合には編集部からご提案します。
- 文字数：400字～600字が目安ですが、長さもご自由です。
- 送付先：jauw.tokyo@gmail.com 件名：ともしび点描画



言葉

ことば
コトバ



言葉は、いつの時代も、日々生まれ、また日々消えていきます。

発信ツールの多様化の今、目まぐるしいものがあります。

そんな言葉について、皆さまに思い思いに綴っていただきました。

*掲載は 50 音順

「編み物」における 日英対照修辞学 大井 恭子

私は日英対照修辞学というものを専門にしていまいりました。この分野では、一文単位でなく談話 (discourse) レベルにおける日本語と英語の比較をその研究の範囲に入れていきます。それゆえ、文章構成法の日英比較の他、手紙文や履歴書、更には料理のレシピなどの実用文での日英対照比較などとしてまいりました。

この分野を40年ほど研究してきたので、おおよそのジャンルの比較はしたかなと思っております。ところが、最近になってこれまで見逃してきたことがあることに気づきました。それは、「編み物」における日英対照修辞学なのです。時間的にゆとりができた退職の身、友人が教え始めた編み物教室に通い始めました。そこで出会ったのが英語の編み方のインストラクションです。私たち日本人は編み物と言えば「編み図」を見て編むもの、というのが一般的理解です。

ところが、英語は文章で編み方が解説してあるのです。「編み図」は在りません^(※1)。英文を読み、正しく内容を解釈しない限り、目的にあった編み物はできないということなのです。西村^(※2)によると、「文章形式になっているのは、編み方が代々口頭で言い伝えられてきた名残である (P. 22)」とのこと。今はネット上で世界各地の編み物のサイトが選り取り見取りです。自分が気に入ったものがあってもインストラクションが編み図ではなく文章である場合、まずは文章を理解するところから始まります。

というわけで、編み物の教室で隣にいた若い女性が、英語が苦手ながらもなんとか理解しようとして努力している姿に感銘を受けました。つまり、これこそ、外国語教育でいうところの CLIL (Content & Language Integrated Learning: 「内容言語統合型学習」) の一典型と思ったことでした。

「好きこそものの上手なれ」と言います。自分の興味あるものでどうしても内容を知りたいと思っただけ、苦手な外国語であっても何とか格闘して理解しようとするその姿に言語学習・言語習得の真髄を感じたことでした。

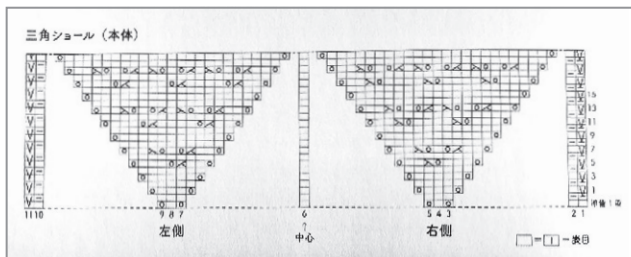


図1 日本語での編み図例

※注1: ただし部分的な模様編みは編み図で説明していることもある。

※注2: 参考文献 / 図2 西村知子『編みもの「英文パターン」ハンドブック』東京書籍 (2015)

Instructions:

Using provisional crochet chain cast on, co 2 sts and knit 7 rows to make garter stitch tab.

Pick up 3 sts along the side edge and 2 more sts from CO end by removing provisional CO. (7 sts)

Set up row for placing markers (RS): K2, pm, yo, k1, yo, pm, k1, pm, yo, k1, yo, pm, k2 (11 sts)

Next row (WS) and all WS rows: Sl1, k1, purl slipping markers along the way to last m, k2

The following are instructions for RS only. All WS rows are to be worked as mentioned above.

There will be an increase of 4 sts after every RS row.

Row 1: Sl1, k1, *sm, yo, k to next m, yo, sm* k1, rep from * to *, k2 (15 sts)

Row 3: Repeat Row 1. (19 sts)

Row 5: Sl1, k1, sm, yo, k3, yo, ssk, k2, yo, sm, k1, sm, yo, k2, k2tog, yo, k3, yo, sm, k2 (23 sts)

(後略)

図2 英語の編み方インストラクション例

共通性と多様性

向後紀代美

アジアの辺境の村でのこと。見ず知らずの親切な人の家に泊めてもらった。私は「こんにちは」と「ありがとう」しか地元の言葉が話せなかった。善意に感謝しようとしても、「ことば」がでてこない。お互いただニコニコするのみ。あの時ほど「ことば」が通じたらどんなに良いだろうと思ったことはなかった。

私は娘たちが生まれた時、一生懸命「ことば」を教えた。同じ努力をするなら「世界共通語」にすれば良かったのではと、つくづく思った。最近では学会や論文発表も英語が多くなってきた。英語が母語だったらこんなに苦労することもないのに……と考える。クウェートに住んでいた時、英国人は「自国語」を使って、世界中で職を得られていてうらやましく思ったものだ。

しかし、一方、50代で正規の職を得た仙台の大学で、女性史の資

料を探している最中に「東北弁をからかわれて、自殺した人がいた」という記事を見つけて驚いた。また、沖縄で標準語が強制されて、話せないと胸から札を下げられた時代もあったと聞いた。

また、チベットへ行ったときは、ガイドさんがチベット人ではなく、中国東北部出身の人だった。日本語が話せるからである。しかし、当然チベットの知識は全くなく、私の方がよく知っているほどだった。「ことば」は職を得るのに有利なことは確かなようだ。

近年ウクライナとロシアの戦争が問題になっており、コロナと共に世界中に多大な影響を与えている。それにともなうて、暴力ではなく、話し合いという外交により問題を解決しようとの論議がマスコミなどで見られる。しかし、現代のようにフェイクニュースが飛び交っている世の中では「ことば」だけの解決もまた難しそうだ。「ことば」の奥にある「人」への信頼、私たちは「人間—ホモサピエンス」という同種なのだという意識があつてこそ「ことば」が有効になる。

ノートの字間に埋まっていた言葉

後藤 英子

庭木の枝垂れ紅葉が今年も色づき散っていきます。

紅葉というと赤ちゃんの手のような葉が想像されますが、枝垂れ紅葉は儂げな葉様です。秋に紅葉して芝生に散り、木枯らしが吹くころに消えていきます。

今年は赤く紅葉した葉を料理にあしらひ、押し花標本と葉にしようと採取しました。ところが室温と外気温の差でしょうか、数分のうちに舞うように、毛糸玉のように丸まりました。そこで押し花葉をあきらめ、まるでプリザーブドフラワーのような葉の生命力をそのまま観賞しています。

この庭木は大学の研究室の先輩から贈られたものです。研究室には多くの専門書が揃えられていました。読み切れませんから、ほとんどは表紙と目次、要約に目を通しただけです。

洋書は先生が日本語の要約を表紙の見返し部分に添付して下さつ

ていました。学生時代、その中の一冊を夏休みの間に読破しようと百頁ほどの本を手にとりました。Biochemistry の入門書でした。今から半世紀前のことです。英語の辞書、医学英和大事典、文部省学術用語集化学編を使って訳そうとしましたが、辞書にない言葉が多く、分からない言葉は英単語のまま字間に残し、別に単語帳を作つてあとから考えようとしていました。その時代の大学ノートを見返すと、現在の生化学分野の発展はめざましく、分からなかった用語は辞典や多様な資料でイラストを付けて解説されています。ノートの字間に埋まっていた言葉は広く理解される言葉となり共通の認識を与える知識となりました。加えて現在はインターネットで専門用語も簡単に調べられ、世界中の言葉で作られる文章も、その大意は即座に翻訳できる時代になりました。

大学生時代に手に取れなかった本も大学図書館に所蔵されてWeb閲覧できます。便利なツールを使ってノートの字間に埋まった言葉を読み解いていきたい、と思っています。

「あれ」「これ」
言うな!

坂上 栄美子

ひょんなことから、30年前に大
学婦人協会に入りました。その頃
私はカラオケで「尽くし足りない
私が悪い…」「着てはもらえぬセー
ターを…」なんて演歌を歌ってい
ました。突然「ジェンダー」「エ
ンパワーメント」「NGO」など
と聞き慣れない言葉に戸惑いなが
らも、いろいろ学びました。しか
し、実生活では、夫を「主人」妻
を「家内」と呼んで呼ばれて、何
の違和感もなくなりました。

20年あまり4夫婦で毎年旅行を
続けてきました。夫はよく冷やか
されていましたが、「うちは得意
な方がやることにしている」と、
私に旅行の企画を任せて気楽そう
でした。いずれ夫の先祖代々の墓
に入る以外は、あまりジェンダー
を意識することはありません。

ところが、一昨年末、夫が発病
して、それから家で私が介護をす
る生活になりました。介護生活に

入ると、ケアマネージャーさんとか
ヘルパーさんとか、色々新しい人
と対面することが多くなりました。
夫はその人たちと話すとき、近く
にいる私のことを「あれが付き
添ってくれます」「これに行かせ
ます」などと、私のことを「あれ」
「これ」と呼ぶようになりました。
私は「へえ?」と気になりました。
もし逆の場合、女性を男性を「あ
れ」「これ」と呼ぶでしょうか?
夫が妻を指す時だけに使う言葉だ
と思います。ある日、「私を、あれ、
これと言うのはやめてください。
私は物ではありません」と、爆発
しました。夫も違和感があつたら
しく、すぐ納得しました。それ以
来、夫は「妻が…」とためらわず
言うようになりました。

85才の夫が80歳の妻のことを、
いまだに「うちのおかあさん」と
言う人もあります。身近な人の呼
称を変えるのは、何かきっかけが
要ります。

いま、夫婦の呼称が取り沙汰さ
れています。私は「夫」「妻」「夫
さん」「妻さん」で良いと思います。
言い慣れれば、普通の言葉です。
きっかけを見付けて変えてみませ
んか?

使い方を考えよう
「お含みおきください」

鈴木 公江

「お含みおきください」という
表現が、最近ビジネスの場で多発
していると聞きます。

取引先や顧客に対してのみなら
ず、社内でも頻繁に使われている
ケースもあるようです。変更があ
る場合やリスクについて注意を喚
起する場合などに使われているよ
うですが、たいしたことでもない
のにこう言われると、有無を言わ
せない感じがして不快だといいま
す。

また、「あとは、あらゆるケー
スを考えて対処してください」と
いう意味の使い方をする人も目立
ち、責任逃れの感が否めないとの
声もあります。

「お含みおきください」と言う
のは、本来「含み置く」(心に留
めておく、了解しておく)という
言葉の敬語表現です。書き言葉で
あり改まった表現で、ビジネス文
書やビジネスメールなどで使われ

ます。目上の人や取引先に使われ
ることが多いようです。

変更可能性や発生するリスクを
明示、特定して使うものなので、
予測できていない変更やリスクへ
の対応を求められると責任逃れの
感じや、丁寧な表現だけに、かえっ
て慇懃無礼な感じを受けるようで
す。有無を言わせないと威圧的に
るので、むやみに使うと威圧的に
も感じられます。単なる社内での
連絡事項などには、使わないほう
がいいような気がします。ただ、
言葉は流動的なものなので、今の
ところはと言ったほうがいいのか
もしれませんが…。

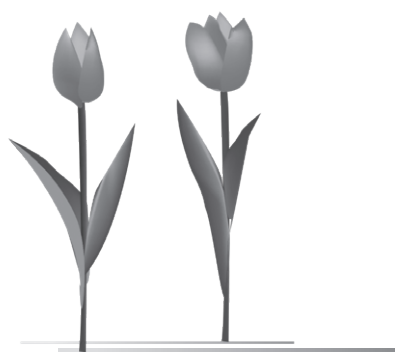


Illustration by T. Sinzi

〈また明日〉 希望のことば

辻英子

久保田淳著の『ことば、ことば、ことば』の「あとがき」に、「まだ接していないのだが岸田國士に『言葉・言葉・言葉』という本のあることを教えられた」とある。また「言葉は恐ろしい、そして、言葉はおもしろい、私は古典の言葉の美しさ、面白さそれ自体を楽しみたい」ともある。

一九八〇年代に起こった「ラ抜き言葉」（上・下一段動詞の可能表現「られる」のラを抜いた表現。見られる↓見れる／食べられる↓食べれる）は、斎藤季夫アナウンサーに言葉は知識のない人によって変わるのです、と言わせ、福田恒存や上方歌舞伎の重鎮・片岡仁左衛門（二三代目・朝日82・1、22）を嘆かせたが、昨今ではさらにとめどなく変形している。フランスでは、結婚前に身に着ける作法の一つに子女は規範的なフランス語を学ぶと聞いたように思う。二〇〇七年にパリで刊行されたボ

エール (Estell Leggeri-Bauer) さんの『源氏物語』三巻（一三万五千円）・六千部は半年で完売、追って縮刷版が上梓され、それを可能にする国民の民度の高さに圧倒された。

奈良時代の薬師寺僧景戒編『日本霊異記』に、古代インドの毘瑠璃王（母が賤女と嘲弄され、報復として釈迦族の九九九〇万人を殺した）が恨みに恨みを以て報いた話（増一阿含経）に寄せて景戒は、「能（よく）忍辱を發さむときに、怨人を觀れば、我が恩師ともならむ（忍ぶ心を起こそうとしたときには、怨敵を見てもわが師とも思えるはずである）（下二縁）と述べている、怖い話がある。怨敵を師と仰ぐまでには至らないとしても、「衆人皆師」（高村象平）には、うれしくなつて安らぎと喜びをもつて踊りたくなるような力がある。

早朝の駒沢公園のウォーキングをするようになって十余年。暁の静寂に屹立する樹木や梢を渡る風、その先には星々が瞬き無言の言伝を贈ってくれる。別れ際に誰彼となく交わす恒例の「またあした」の一語は、明日に繋がる力を宿している。

好きなことばに老子の「善行は轍迹なし」がある。

ことばの力で平和を 創成しよう

ときえだひろこ

戦争を止める仕組みをつくらうよ「心ある人この指とまれ」。

あの日、私の歌メールに、真正面からの返信は、ありませんでした。それは仕方ないことで、国連はじめ大中小の幾つもの国が、お互い武力戦での滅亡は避けたいと何種類もの同盟を結び、国境を越える貿易も、援け合いもある世界なのですから。

ところが時間が経つほどに、この戦争の動機には、古い武器の消尽もあろうかという事態に至り、更には新しい武器の必要性が、戦地と遠い諸島にまで伝われと期待する、独裁的英雄深層心理の露出があります。

ようやく、「クリスマスス休戦なしとはニンゲンじゃない」と憤慨する普通の日本女性から、「停戦交渉は英語でできるのかしら。普段の話し合いとか、ムダで楽しいお喋り会の繰り返しで、長期利害バランスも、日本語なら結構うま

く保てるのに」、「それって、究極の井戸端会議ね」等々の、噂話が入ってきました。

これは、日常生活の言論の自由がかなり許される社会を想像している感想なので、日本女性でも戦時体験者は、旧ソ連圏の人達の不自由さを理解できるはずですよ。

ちなみに思い出すのは、山崎倫子JAUW元会長のご体験に基づくご忠告です..「第三外国語では非ロシア語をなさい。父に言われたのは『ロシア語の解る人にはロシア人は悪さをしない』、これは本当で、私たちは引き揚げのとき実際ずいぶん助かったのよ」。

現在のウクライナで、ロシア語が全域優勢となる前に、ソ連が崩壊したようです。

他の諸国にも同様の言語的リスクがあるのかもしれませんが、なお、日本国は、日本語をアジアの公用語化しようとして大失敗したのですが、台湾には今でも、和歌を好む中国語ネイティブの方達がおられ、よい言葉は生きていそうです。日本語の仕上げは和歌の五・七・五・七・七リズム、昔も今も、ロシア語圏の女性達も、GWIに仲間として迎えできる日が、遠からずきますよう専ら祈っています。

見えない言葉

VS TMI

中野 眞佐子

日本には見えない言葉がある。昭和の終わりから平成時代を米国で過ごし、令和になってから日本滞在の時間が多くなった私を感じていることである。どうもうまく言葉のキャッチボールができず、ボールがどこかに飛んで行ってしまったり、顔面に当たったりする。それは、単に私の日本語力の不足だけではなさそうだ。日本に古くから根付いている沈黙の文化や「付度」に起因するのではないかと思う。

例えば「質問・提案」という言葉には「反対意見・ケチをつける」という言葉が隠れていることがある。「あつ？ もうこんな時間？」には、「夕飯まだ？」「洗濯物取り込んで」などが隠れている。「よく気がつく」が誉め言葉でなく「細かい・やりすぎ・余計なお世話」のような見えない言葉が存在することに気づくのに時間がかかった。他にもまだまだ修行が足りない

いと異星人は自省。

しかし、その反面で、発表、挨拶、説明、報告などでTMIを感じる。TMIとは何を表す言葉か？ 英語で too much information (必要以上の情報) という意味である。何をどう伝えたら聞いている人に分かりやすいかを考えるより、自分の言いたいことを中心に必要な以上の情報を付け加えてしまう。

直截的な言い方は面白みがないかもしれないが、3行で済む報告が1ページあったり、2分で済む挨拶が5分になると、読む人聞いている人の前頭葉に情報のオーバーロードが起きてストレスになつてしまう。5歳のチコちゃんに相手だと思つて言葉をそいでいく作業を試してみたらどうか。コアな部分が見えてくるのではないだろうか。

見えない言葉の見える化、情報のスリム化を心がけると、弱いと言われている日本人のプレゼン力(りよく)、コミュニケーション(りよく)も大分改善されるのではないだろうか？

日々精進

too much information

氾濫するカタカナ語から

長谷川 瑞穂

最近特にカタカナ表記の外来語(以下カタカナ語)や英語の頭文字語が、新聞、テレビ、ネット上に氾濫している。本稿では最近の新聞のカタカナ語を通して世の中の変化を考察する。

企業や社会には自らの利益のみを優先するのではなく、環境や社会問題に配慮した運営が求められる。「これからの企業のSDGsアクションを考える」というタイトルのSDGsは言うまでもなく国連が掲げた Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の頭文字語である。最初の部分は、カタカナ語としてサステナビリティ、サステナブルとしてもよく使われる。森永製菓が力カオ豆採集の際の子供の過酷な労働や森林破壊に配慮したサステナブルなチョコレート製造を行っているという記事にも表れている。「ESGの推進はワークフローでうまくいく」というタイ

トルのESGは Environmental Social Governance (環境、社会に配慮した経営統治) の頭文字語であるが、ほぼ同じ考え方である。12月3日のNHKのニュースで、就職を希望する若者の55%が環境や社会問題に配慮した企業経営を行っている会社を希望していると報じていた。大量生産、大量消費、大気や河川の汚染を経験した中高年よりも若者の方が環境や社会問題に敏感であるといえる。

他に「リスキリング戦略」に見られるリスキリング (reskilling) は再びスキルを身につける学び直しを意味する。「持続可能なメタバースに向けて」に見られるメタバースは、を超越したという意味の meta と宇宙の universe の後半の verse からできた語であるが、インターネット上の仮想空間を意味する。

最後にカタルでの日本対スペインの試合のボールの判定に使われたVARは Video Assistant Referee (ビデオの助けによる審判) の頭文字語である。

頭を柔軟にして、新しいカタカナ語や日々の変化に対応していきたいものである。

新旧委員による親睦会の報告

皆さまも楽しいお仲間に



コロナ禍でなかなか集まれなかった新旧委員の親睦会を、もうこの時期を逃してはとの思いから、2022年9月24日(土)に開きました。支部委員会を午前中に終わらせ、長谷川さんの紹介で第一ホテル東京 フレンチ「アンシャンテ」に集合。ロココ風の洒落た個室を無料で用意していただき、お料理も凝っていてとても美味しく、お互いに自分のオーダーを自慢し合いつつ歓談。8年間委員を務められた河井尚子さん、木村和子さんに感謝し、これからもご支援をお願いしました。

東京支部委員会は現在15名で活動しています。奨学金事業、講演会の企画、「ともしび」編集、書記、会計の仕事と多岐にわたりますが、初めての方でもベテラン委員が手取り足取り教えてくれます。気が付けば適材適所に落ち着き、その係を通して学ぶことも多く、やりがいがあります。180名の支部会員を抱えながら、皆さまの持てる力を引き出していないのがとても残念でなりません。登録だけの会員ではもったいないです。是非、委員会のお仲間に加わっていただいて、この JAUWならではの活動と一緒に楽しみながら、共に成長の喜びを分かち合ってください。

関心のおありになる方はどうぞ支部長までお知らせください。
鷺崎千春 Email: chiharu1714@gmail.com



東京支部 講演会



2023

開催 **6月24日(土)**
13:30-15:30

はやしのぞむ

講師 **林 望氏**

作家・国文学者
元東京藝術大学助教授

能の中の女性たち
中世に女性はどう捉えられていたか

会場 **今井館聖書講堂**

(駒込六義園隣、内村鑑三ゆかりの建物)

●参加費:1,000円 ●定員:50名

●申込先:中山正子(東京支部講演会担当)

Email: masako@c02.itscom.net

▶対面のみの開催といたします。

※『イギリスはおいしい』で日本エッセイストクラブ賞、『能よ 古典よ!』『能の読みかた』等 能楽関係著作のほか、エッセイ・小説等著書多数

サークル案内

●水墨画教室

若千名募集中。初心者大歓迎です。
お試し体験もできます。

●第2金曜日

午後1時半～3時半

JAUW事務所会議室

講師 日高絹子(絹紅)会員

連絡先 森川淳子

Tel(045)583-3430

●映画クラブ

と一緒に映画を見て「映画談義」を楽しむ、気さくな集いです。
ぜひ一度、ご参加ください。

●隔月開催

(その都度、日、時間、場所を連絡)

・入会申込、連絡先 中山 正子

Email

jauw.tokyo@gmail.com

Tel(045)541-2481

(Fax同)

2022年度(7月～3月)

新入会員紹介

土部 元子 (慶応義塾大学)

*敬称略 *括弧内は出身校

お悔やみ申し上げます

宮島 茂子 様

2022年12月13日 ご逝去

ご寄付いただきました
ありがとうございました

ありがとうございました

水墨画教室

5千円

映画クラブ

7千円

鈴木佳子 日向美砂子 鷺崎千春

1万2千円

*敬称略

支部からの連絡

●住所等の変更はお知らせください。
●会費未納の方はお早目にお願ひします。

●91歳以上の会員の会費は免除することがあります。

支部長までお申し出ください。

●中野区視覚障害者福祉協会支援のため使用済み切手を事務所までお送りください。

《編集後記》

コロナ禍にあつて、Webによる編集会議が続きました。「ともしび」を会員間の結びつきを強め、会員獲得につながる情報誌として、育んでいきたいの思いから対面による編集会議を開き意見を出し合いました。その成果が紙面に少しずつでも反映され、皆様との絆を深める一助になればと願っております。

(編集担当 嶋田、進士、安東、鈴木、中山)

ともしび 第73号 発行日: 2023年3月6日(月)

編集/発行: 一般社団法人 大学女性協会東京支部 〒160-0017 東京都新宿区左門町11番地6 パトリシア信濃町テラス101

Tel: 03-3358-2882 Fax: 03-3358-2889 Email: jauw@jauw.org URL: https://www.jauw.org

制作協力/印刷: 株式会社 繁松

※「ともしび」は会員のための情報誌です。外部に向けた転載、引用などは事務所まで一報ください。